HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	博士論文題目一覧；修士論文題目一覧；特定課題研究テーマ一覧
Citation	研究論集, 24, 277（左）-284（左）
Issue Date	2025-01-24
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/94044
Type	other
File Information	18_rjgshhs_24_p277-284_l.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

博士論文題目一覧

令和５年度

氏　名	種　類	学　位　論　文　題　目	授与月日
一　瀬　真　平	文学	Literary Fathers and Sons: Charles Dickens，Mark Twain，Sherwood Anderson，and Paul Auster（文学的父子：チャールズ･ディケンズ，マーク・トウェイン，シャーウッド・アンダソン，ポール・オースター）	令和 ５．6.30
肖　　禾　子	文学	村上春樹文学における物語の研究	５．6.30
舘　石　和香葉	人間科学	集団を越えた協力に関する実証的・理論的検討	５．9.25
Stephanie Midori Komasin ステファニー ミドリ コマシン	文学	The Thought of Kingo Miyabe，Kanzo Uchimura，and Inazo Nitobe: Independence，Tolerance，Nature，Health，and Views of Women in Japanese Christianity（宮部金吾，内村鑑三，新渡戸稲造の思想：日本のキリスト教における独立，寛容，自然，健康，女性観）	５．9.25
川　村　　壮	文学	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の津波災害リスクと港湾都市の開発に関する地理学的研究	５．9.25
高　　先　慶	文学	韓国語における行為要求の「−silkeyyo」に関する研究	5.12.25
楊　　宇　翔	人間科学	Unraveling motor area plasticity: investigating the effects of neurofeedback and tDCS on motor learning（運動野の可塑性を解明する：ニューロフィードバックと tDCS が運動学習に及ぼす影響）	5.12.25
猪ノ原　次　郎	文学	西田幾多郎の自覚の哲学 ── 知識論と行為論におけるその展開 ──	６．3.25
本　間　宗一郎	文学	考慮の前提である余地と決定論の両立性	６．3.25
木　村　由　美	文学	樺太からの引揚者と戦後北海道	６．3.25
髙橋(土屋)小百合	文学	表象としての〈木戸孝允〉── イメージの一五〇年史 ──	６．3.25
袁　　嘉　孜	文学	多和田葉子研究	６．3.25
畢　　亜　莉	文学	近代日中における「発」を含む二次漢語の成立と交流について	６．3.25
新井田　光　希	文学	時間情報処理における刺激規則性と知覚および運動タイミングの関係とその脳内基盤の検討	６．3.25
侯　　乃　禎	文学	後期西田幾多郎の宗教論における自己と絶対者の関係	６．3.25
許　　開　軒	文学	近世日本のニワトリ利用に関する動物考古学的研究	６．3.25
路　　勝　楠	文学	元弘相傳本『五行大義』引『説文解字』考	６．3.25
市　村　俊太郎	文学	中國中古時期における姓氏と譜牒に關する研究	６．3.25
堅　田　　諒	文学	俳優たちの映画 ── ジョン・カサヴェテス作品における俳優演技の理論と実践	６．3.25
中　村　　建	文学	有島武郎の研究	６．3.25
左　　沿	人間科学	音声の自己認識とマスクの有無などの外部要因が音響特性と魅力評価に与える影響	６．3.25

氏　名	種　類	学　位　論　文　題　目	授与月日
反　田　智　之	人間科学	The Characteristics of Attentional Templates for Rejection in Visual Search（視覚探索における注意の抑制テンプレートの特性）	6．3.25
晴　木　祐　助	人間科学	Perceptual Mechanism of Interoception: On Roles of Attention in Modulating Uncertain Interoceptive Signals（内受容感覚の知覚メカニズム：不確実な信号を調節する注意の役割に着目して）	6．3.25
本　間　祥　吾	人間科学	進化・学習・規範：強化学習の計算論モデルによる検討	令和 6．3.25
前　田　友　吾	人間科学	自己意識的感情の社会生態学的基盤 ── 関係流動性の役割 ──	6．3.25
翁　　康　健	人間科学	グローバル社会における異民族間の共生と民族宗教のダイナミズム ── 東アジア社会の華人ネットワークの再編成 ──	6．3.25
芦　　非　煙	人間科学	北海道道央地域における外来種ニホンテンと在来種エゾクロテンの競合に関する保全生態学的研究	6．3.25

修士論文題目一覧

令和５年度

専　攻	氏　　名	修　士　論　文　題　目
人文学	高　橋　勇　真	プロティノスにおける質料について ── 悪そのものとしての質料と一元論との調和をめぐって ──
	鈴　木　　潤	古典命題線形論理における証明論と意味論の相互作用
	梅　村　　渉	分散知識認識論理のクレイグ補間定理
	室　井　沙　月	帰納の実質理論の批判的検討
	劉　　偲　卓	Proof Theory of Public Annonucement Logic （公開告知論理の証明論）
	安　保　広　睦	ヘーゲル論理学における「物自体」概念の深化 ── カント哲学の根本問題への応答 ──
	渡　邉　裕　人	音楽を聴く経験に関する現象学的分析 ── シュッツ音楽論に対するエナクティブ・アプローチの導入 ──
	コウ　　婉セン	リバタリアニズムはエゴイズムなのか
	吉　澤　日芙美	滑り坂論法の分析と医療倫理における無危害原則の捉えなおし ── 厚生労働省ガイドラインを批判するために ──
	大　谷　貫太郎	メタ倫理学を中心とした進化論的暴露論証の射程と問題圏の検討
	徐　　晨　倚	運と功績：Dworkin と Cohen の運の平等主義理論への批判的分析
	周　　セイ而	女性霊性運動研究再考 ── リーアン・アイスラー研究を中心に
	梶　野　歩　夢	初期シャンカラ学派における無明論の研究　サルヴァジュニャートマンを中心に
	石　井　祐　実	アイヌ民族が所持したクワサキについて
	田　原　洋　朗	合同漁業株式会社（一九三一～一九四八年）の研究
	池　崎　修　平	明治前期札幌における官営工場の雇用と労働
	浦　　果	「満洲国」建国大学における学生の塾生活と民族協和
	小　島　一　記	州制下オスマン帝国における警察行政：ドナウ州及びボスニア州での展開と構造
	中　川　流　衣	イブン・アル＝アフタスは「旧」・「土着」ベルベルの指導者であるか ── 11 世紀アンダルスのフィトナ初期におけるズンヌーン家，ラジーン家との比較から
	新　谷　耕太郎	人丁から民数へ ── 十八世紀清朝における人口の発見

専　攻	氏　　名	修　士　論　文　題　目
人文学	伊　藤　大　智	『晋書』における徴召と辟召について
	青　海　一　太	12 世紀オークニー諸島を取り巻く海域世界
	加　藤　貴　光	フランス革命期ドイツにおける帝国国法論者の帝国観 ── ヘーベルリンとベルレプシュ事件
	濱　寄　隼　佑	14 世紀ベーメン王冠諸邦の統合における聖ヴァーツラフの機能
	志　村　佳　亮	帝政前期におけるローマ兵の結婚とローマ当局の対応 ── 結婚禁止令を手がかりに ──
	髙　木　暉　馬	18〜19 世紀フランスにおける民衆の婚姻・家族の変遷
	荒　井　綺　乃	ZooMS を用いた遺跡出土アシカ科遺存体の種同定の試み
	越　崎　聖　也	道央部の縄文中期，後期の地域社会についての研究
	王　　梓	日本の都市におけるイレズミ研究 ── 彫り師の経験を手がかりに ──
	陳　　益　輝	── 平等となる聖地 遊びの楽園 ── 札幌市クロスフィット SSC における人類学調査報告
	西　　希	現代短歌の文化人類学的研究 癒しとしての遊び
	池　原　優　斗	異分野融合型研究所の日常と実践 ── 北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センターのエスノグラフィー
	モイシロヴィッチ ヨ　ワ　ナ	Music as a Peace Resource: Examining Efforts and Impact of a Kosovar Band in the Western Balkans （平和資源としての音楽 ── 西バルカンにおけるコソヴォ系バンドの活動と影響を考える）
	平　尾　拓　也	世阿弥の物まね論の様相 ──「本意」と「我意分」の意義をめぐって ──
	上　村　麻里恵	マーク・モリスロー作品論 ── 内向的イメージから見られる孤高性について
	楊　　玉　瑩	嶺南画派と近代日本の画壇との関係 ── 高剣父と京都画壇を中心に
	江　口　佳　穂	コロナ禍での博物館の取り組み「おうちミュージアム」の全容を明らかにする ── 博物館側と利用者側双方に着目して ──
	楊　　逸　娜	大学博物館における市民連携の実態について
	阿　部　麟太郎	日本におけるエコミュージアムの構成要素の再検討 ── 類似概念との比較を通じて ──
	陳　　慧　娟	公立博物館における直営ショップの現状と課題およびオリジナルグッズの意義に関する考察 ── 直営主体の影響に着目して ──

専　攻	氏　　名	修　士　論　文　題　目
人文学	山　口　一　樹	鑑賞後の語りによる意味づけの研究 ── 旧夕張市美術館収蔵コレクションの展示価値に関する考察 ──
	岸　　恒　介	Double overhead and novelist recovery in Pat Hobby Stories （パットホビー物語における二重俯瞰と作家の回復）
	佐　藤　和　奏	From Summer Crossing to Breakfast at Tiffany's: the Representation of Appearances and Names in Truman Capote's Fictions. （『サマー・クロッシング』から『ティファニーで朝食を』へ ── トルーマン・カポーティ作品における外見と名前の表象）
	濱　田　紅伶葉	Act to Live: Performance as the Way of Life in J．D．Salinger's “Uncle Wiggily in Connecticut” （生きる為に演じる：J・D・サリンジャー「コネティカットのウィグリーおじさん」における生存戦略としての演技）
	幸　喜　　翼	根之堅洲国の意義
	鎌　田　凌　矢	三条西家本『和泉式部日記』不審本文考
	橋　本　枇菜乃	『和泉式部日記』の研究
	張　　楽　融	『鬼谷子』によって考える縦横家・蘇秦の術に関する研究 ── 捭闔篇と反應篇を中心に
	陳　　恵　陽	『金瓶梅詞話』における性描写について
	張　　新　月	溝口健二の作家論についての考察
	陳　　韵	女性向けアダルトコミック中心電子書籍論 ── ジャンルと表現からみる消費の変容 ──
	仲　村　明　音	漫画・アニメの「美少女」像の考察
	林　　蒼　真	野田秀樹研究 ── 劇空間における虚構化作用
	宮　﨑　遼　河	西尾維新ミステリ論
	高　島　智　也	反戦表象の生成原理 ── 第一次世界大戦を舞台とした劇映画の分析 ──
	井　上　萌　香	有島武郎作品における女性人物の病と死
	何　　洪　叡	宮澤賢治『春と修羅』研究 ── 歩行，声，複数性 ──
	王　　藝	日本語の事象動詞におけるアスペクト性に関する研究
	カク　　立　揚	日本語における間接受け身文に関する研究
	数　納　風　香	現代日本語における授受補助動詞を用いた敬意表現の使用動機と効果について ──「品行」概念を使用したポライトネス理論再考とともに ──

専　攻	氏　　名	修　士　論　文　題　目
人 文 学	黄　　銘　君	日本語における再帰性の研究
	崔　　子　君	日本語連体修飾におけるゆれの研究
	崔　　雪	日本語におけるヘッジ使用に関する研究
	趙　　可	日本語における接頭辞「お」と「ご」に関する研究
	田　　翹　楚	現代日本語話し言葉における「そうですね」の意味・機能の研究
	李　　鈞　儒	「のだった」の発話機能の研究
	小太刀　雄　海	1890–1910 年代，ロシア帝国諸官僚の活動とそれに呼応したトルキスタンにおける綿花プランテーションの本格化ついて
	荒　濤　理　沙	ジョージアの LGBT が直面する現状とクィア映画に見られる LGBT 表象：政治・宗教・社会的観点からの分析
	山　田　愛　実	戦間期ポーランドにおけるカトリック教会と反ユダヤ主義：世俗（教会外）の反ユダヤ主義との比較を通して
	根　来　朝　陽	帝政ロシア民族誌の中のヤクート人：その叙述と認識の変化（18 世紀から 19 世紀半ば）
	守　屋　李佐子	木彫り熊の価値づけの変遷について ── 北海道新聞を中心に ──
	葛　野　大　喜	アイヌ語東別方言における祈り言葉の研究
	長　尾　優　花	アイヌ神謡における折節の研究
	林　シュウェン	アイヌの英雄詞曲に見る女性像について
	グルコフスキー アレクサンダー	古代蝦夷の形成 ── 文化と社会の実態 ──
人間科学	神　田　　朔	知覚時間の手がかりは何か ── 種類の異なる点滅刺激を用いた検討 ──
	劉　　展	HSV 色空間定義下の色の属性の違い
	ヒツ　　ゲツ	What Makes You Approach Strangers? The Role of Relational Mobility, General Trust and Self-Esteem （見知らぬ他者への接近の促進要因：関係流動性・一般的信頼・自尊心の役割）
	相　馬　ゆ　め	議論フレームに着目した公共的討議のあり方の検討：福島県外除去土壌問題を題材とした集団討議実験
	辻　本　光　英	除去土壌の福島県外最終処分に向けた合意形成ゲームの開発と試行：公衆-ステークホルダー参加・関与による多段階のプロセスの検討
	米　村　朱　由	ウマにおけるヒトとの協力行動とそれを支える不公平忌避に関する実験研究

専　攻	氏　　名	修　士　論　文　題　目
人間科学	川　村　　樹	情報の信頼性を操作した間接互恵性状況における情報伝達バイアスの検討
	王　　書　暢	「恵台政策」下における台湾の若者が中国大陸に渡った動機と社会統合 ──「文化的アイデンティティ」の視点から ──
	魯　　彦	社区における中国的市民社会の在り方 ── 官民関係の視点から ──
	呉　　亦　悦	中国のトランスジェンダーの家族関係における葛藤
	叶　　子　青	親の学歴結婚パータンが子どもの学校外教育投資に及ぼす影響に関する考察 ── CEPS データに基づいて ──
	米　本　英　介	高校年代対象学習支援事業の実施状況と効果検証
	近藤　イーサン	アメリカ政治における福音派の位置と意味についての社会学的考察 ── 現代における福音派の特徴とミシシッピ州におけるその位置と意味について ──
	伊　藤　彩　乃	地域住民のヒグマ認識および人とヒグマの関わりから考えるヒグマ対策のあり方 ── 北海道浦幌町を事例に ──
	頃　安　悠　希	ダム建設と立ち退き移転に揺るがされた地域社会と人の営み ── 岡山県鏡野町苫田ダムを事例として
	佐　藤　このみ	漁村に暮らす女性にとっての労働 ── 北海道寿都町を事例に
	高　谷　健　人	現代のニュータウンにおける高齢者の暮らしを可能にする街の特性と社会関係に関する研究―札幌市もみじ台地区を事例に
	林　　天　玉	漁村活性化における女性たちの役割と可能性 ── 北海道神恵内村を事例に
	上　村　優貴乃	ハシブトガラスの繁殖期における威嚇・攻撃行動の要因に関する研究
	王　　小　羽	孫ターン世帯の移住先地域に果たす役割 ── 岐阜県下呂市を事例に ──

特定課題研究テーマ一覧

令和５年度

専　攻	氏　　名	特定課題研究テーマ
人文学	栄　　梓儀	生物的特徴に基づく鶴の物語の特性に関する研究 ── 日本，中国，アイヌの物語を対象に
	石　　正萌	博物館における幼児教育活動の独立性に関する研究 ── 幼児教育と子ども教育の分離の視点から ──
	古賀美帆	ヒッチコック映画論